

平成 23 年度 第 1 回 提案公募型セミナー  
—法科学に有効な機器分析法—

主催 日本分析化学会近畿支部・近畿分析技術研究懇話会

共催 日本学術振興会（二国間交流事業）

期日 2011 年 11 月 11 日（金）14 時 00 分～17 時 30 分

会場 大阪市立大学 文化交流センター ホール（大阪駅前第 2 ビル 6 階）

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600

アクセス JR 東西線「北新地駅」徒歩 3 分；JR 大阪環状線/東海道線「大阪駅」徒歩 10 分；  
地下鉄四つ橋線「西梅田駅」徒歩 5 分； 地下鉄御堂筋線「梅田駅」徒歩 10 分 など  
<http://www.osaka-cu.ac.jp/info/commons/access-umeda.html>

内容 犯罪捜査においては、現場に遺留された証拠品を分析し、犯人の特定や犯行の手口に結びつく情報を得ることが求められる。この際、裁判で再鑑定を求められることがあるため、非破壊分析が望ましい。そこで、このような法科学（鑑識科学）に有効と考えられる非破壊的な分析法について研究動向、分析例などを紹介していただく。セミナーを通じて、各分析法における課題を明らかとし、安心・安全な社会の実現に向けての今後の分析研究に活かす。

プログラム （各講演時間は 30 分程度）

1. 挨拶 支部長 萩中 淳  
(大阪市立大) 辻 幸一
  2. 趣旨説明
  3. 「SR based Micro and Trace XRF analysis」  
(TU-Wien) Peter Wobrauschek
  4. 「3 次元蛍光 X 線分析による法科学試料の解析例」  
(兵庫科捜研、大阪市立大) 大槻和徳
  5. 「赤外反射分光法による表面定量分析」  
(京大化研) 長谷川 健
- コーヒーブレイク
6. 「Forensic applications of TXRF and micro analysis」  
(TU-Wien) Christina Strelt
  7. 「表面増強ラマン散乱の基礎と応用」  
(関西学院大) 尾崎幸洋
  8. 「証拠物件鑑定における非破壊分析の有効性 —いくつかの実例について—」  
(長崎国際大) 丸茂義輝
  9. まとめ 辻 幸一

参加費 無料

申込締切 11 月 4 日（金）

申込方法 E-mail の件名欄に「提案公募型セミナー参加」と記し、本文に(1)氏名、(2)勤務先、  
(3)連絡先（住所、Tel/Fax）を明記の上、下記申込先まで電子メールでお申込みください。

申込先 大阪市立大学大学院工学研究科 辻研究室 国土由希子

E-mail: [tsujilabo@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp](mailto:tsujilabo@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp)

問合せ先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学大学院工学研究科 辻 幸一

Tel: 06-6605-3080, E-mail: [tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp](mailto:tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp)